

永寿園とよなか

楠田八洲子 様作

平成28年 第4号
 発行人：所長 宇津木 久志
 発行：永寿園とよなか
 〒560-0084
 大阪府豊中市新千里南町
 3-2-122
 TEL：06-6840-2211
 FAX：06-6840-2214
 E-mail：eijuyentoyonaka122@seagreen.ocn.ne.jp
 URL：http://www.osj.or.jp/eijyuen/



ごあいさつ

所長 宇津木 久志

平成28年4月1日付けで「豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか」所長、「特別養護老人ホーム永寿園とよなか」荘長として着任いたしました宇津木久志でございます。

3月までは、同じ豊中市にあります「特別養護老人ホーム豊寿荘」で仕事をしておりました。どうぞよろしくお願い致します。

私にとって「永寿園とよなか」は、施設が開所しました平成25年からの一年間ですがお仕事をさせて頂いた親しみのある施設です。この施設で仕事をさせて頂く事になり大変嬉しく感じております。

さて、「永寿園とよなか」も四年目を迎え、様々な課題や役割が見えてきました。

昨今の福祉の動向として、国は団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

このような中、「永寿園とよなか」が果たすべき役割、担うべき責任について、3年という期間ではございますが、地域の皆様のご協力により培ってきた運営ノウハウや職員のマンパワー、更に施設自体の機能を地域、或いは社会に提供し、この地域で生活したい、この地域には頼れる施設があるから安心、と思ってくれる様な施設をめざし、豊中市立の施設として地域包括ケアシステムの一翼を担えるよう努力をしていきたいと思っております。

法人の実践的理念である「よりそう想い つながる心」の精神のもと、ご家族、地域社会とのつながりを大切に、活力のある高齢社会及び人権が尊重される社会の実現に寄与するべく努めてまいりたいと思っておりますので、引き続きご指導、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成28年度 事業計画

1. 施設目標

永寿園とよなかの理念である「その人らしく、ここで…」を実現できるよう、入居者の皆様はもとより、地域の皆様が安心して暮らしていくことのできる社会を作っていくために、地域の一員として、地域社会に貢献してまいります。

2. 事業方針

- (1) 介護・生活支援サービスの向上
 入居者主体の「その人らしい」暮らしが実現できるよう、個別ケアの充実を図り、24時間シートの見直しと活用を継続します。
 虐待防止に関する職員の意識向上に繋げるため、虐待防止チェックリストを年2回以上実施するとともに、人権リーダー養成講座受講職員を中心に職員研修を行ないます。

- (2) 専門性の高いケアの提供
 重度化した様々な状況の入居者の受け入れに対して、即時に且つ丁寧なケアを提供し、その入居者に満足して頂けるケアの確立を目指します。
- (3) 経営基盤の安定化に向けた取り組み
 養護老人ホームの特定利用者に対するサービス提供方法変更を行い、3か月が経過しています。さまざまな介護報酬加算要件を満たすことが出来るように月1回開催している施設内経営事業所会議にて検討していきます。
 レクリエーションや運動プログラムを実施することにより、身体機能の維持、向上を目指す。健康で元気な体づくりを行うことで、入院することなく、施設で生活して頂けるようにしていきます。

- (4) 人材育成と職場環境の整備
 職員個々のユニットケアへの知識を深め組織の底上げを行なうため、サプリーターや他部署にも外部のユニットケア研修等の受講を進め、確実な伝達研修によりケアの質の向上に繋げます。施設内外におけるユニットケア研修や勉強会を充実させます。
 また、介護従事者の健康保持の為、職員の腰痛予防に着目し、平成27年度は個浴リフトを新たに1台導入しました。引き続き平成28年度もスライディングシートやスライディンググローブなど、新商品の介護用品などを積極的に導入し、職員の健康被害による離職防止に努めます。
- (5) 地域公益活動の推進
 昨年に引き続き、認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターを増やしていきます。

豊中市と連携し、一般企業等への出前講座も実施していきます。
 また、地域住民を対象に公開講座を実施し、介護予防、生涯学習の機会を提供していきます。ひき続き子育てサロン、ことぶきサロンへの場所提供を継続し、世代を超えた交流の場として定着させていきます。

3. 平成28年度ステップアップ事業

- ① 認知症サポーターの組織化
 平成26年度、平成27年度に開催した認知症サポーター養成講座の受講生を対象に、組織化を図り、組織化されたメンバーと共に地域貢献事業をすすめていきます。
- ② 達成目標
 地域貢献事業の運営、実施。

豊中市立養護老人ホーム

養護介護職員
八木 喜代美

今年度 目標

元気にハツラツ

今年度永寿園とよなかの目標は「元気にハツラツ」です。皆さん毎日ラジオ体操や歩こう会に参加されたり、天気の良い日は屋上で体を動かしたり、近くの二ノ切公園まで散歩に出かけられる方もいらっしゃいます。「今日も元気に明日も元気にハツラツ」な永寿園とよなか養護のみなさんです。



参加して下さいますようお願いしています。



養護介護職員
福永 りつ子

レクリエーション『いっしょ』

月・火・木・金の
午前、午後それ
ぞれ2時間程、
屋上でレクリ
エーションサ-

行事報告



つばき公園祭り(4月)



▶ 初詣(1月)



▶▶ 初舞(1月)



▶ 節分(2月)



▶ バスツアー
咲くやこの
花館にて(5月)

これからも季節に合わせた行事を皆様に楽しんでいただきます。



特別養護老人ホーム

ゆたか1丁目

皆様、はじめまして。私はゆたか1丁目ユニットリーダーをさせて頂いている、小林哲也(コバヤシテツヤ)と申します。今年度のゆたか1丁目の取り組みと致しまして、ユニット内の環境をより家庭的な環境になるよう、入居者様ならびにご家族様が落ち着き過ごせる空間作りに職員一同取り組んでまいります。

また、入居者様に季節を感じて頂けるよう、外出する時間を大切に、行事の企画運営に努めます。宜しくお願い致します。



ゆたか2丁目

介護主任兼ゆたか2丁目のリーダーをしています福園彩です。永寿園とよなかの理念「そのひとらしくここで…」を基本に、その方のペースに合わせ、一日一日の暮らしを大切に思い、ケアをさせて頂きたいと考えております。そのためにも、ユニットケアの充実を図り、その方の意向に沿ってご家族様も交えた夕食等の行事も企画していきます。ご来園時、お気づきの点がございましたら、お声をかけて下さい。今後ともよろしくお願い致します。



いづみ1丁目

いづみ1丁目ユニットリーダーの片岸英子です。「心に余裕を持ち、思いやりのあるユニット作り」を行っていきたくと思っています。入居者様が「健康で楽しく安心して、自分らしく生活が送れる」ように、私たち職員は常に心に余裕をもって支援をしていきます。「今、何を思い考え、今、何を必要とされているのか」と入居者様の気持ちを常に考え大切に行きたいと思っています。入居者様お一人お一人と、職員が「笑顔で楽しく」日々、生活を送って頂けるよう、ユニット作りをしていきますので、どうぞ宜しくお願いします。



いづみ2丁目



はじめまして、いづみ2丁目(ショートステイ)でリーダーをさせて頂いています、水上小百合です。おかげさまで沢山の方がショートステイをご利用下さっています。ショートステイでの生活とご自宅での生活が連続したものになる様、ユニット職員はもちろん、ご家族様や他職種の協力を得て、情報収集を行い、24時間シートを作成し、利用者様お一人お一人に合った細やかなお手伝いを心がけ、永寿園とよなかの理念にある「その人らしくここで」を大切に、少しでも安心して過ごして頂ける環境を整えて行きたいと考えています。



新人・転入職員ご挨拶

特養科長挨拶



この度、豊寿荘より着任いたしました横山亮平です。永寿園とよなかの事や入居者の皆様の事を一日も早く覚えられる様に努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

開設より4年目を迎えるにあたり、永寿園とよなかの理念である「その人らしく、ここで・・・」をモットーに、昨年度より入居者様一人ひとりの個性を大切にされたケアの見直しを含め、「ユニットケア」への理解を深めながら入居者様の生活を大切に出来る様、職員一同奮闘しています。

今後も、地域の皆様と共に歩みながら、沢山の方に活用して頂ける施設を目指していきます。地域資源として、地域の皆様にとってなくてはならない施設となれる様、職員一同日々精進してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

養護老人ホーム 相談員 多久和 里香

4月1日より養護の生活相談員をさせて頂いている多久和里香です。入居者様に安心して笑顔で過ごして頂けるよう一緒に行事に参加し喜びを共有したり、ご相談に応じて必要な支援をさせて頂きます。よろしくお願いたします。



特別養護老人ホーム 介護職員 井上 直子

4月より正規職員として働かせて頂く事になりました井上直子です。入居者様、一人一人の方と向き合い笑顔と思いやりをもって日々の業務に努めたいと思っています。たくさん事を学び、日々成長していきたいです。よろしくお願いします。



特別養護老人ホーム 介護職員 小畑 正人

皆様、はじめまして。今年の一月から大阪社会福祉事業団でお世話になっています、小畑正人といいます。約10年間、介護老人保健施設で働いてきました。特別養護老人ホームの経験はありませんが、「その人らしく、ここで・・・」をモットーに皆様が安心して楽しく生活が送れます様、支援をしていきたいと思っております。皆様のお役に少しでも立てる様、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



介護職員 福井 さとみ

この度、4月1日付で正規職員になりました福井さとみです。これからは昨年度以上に、より一層、責任感を持って業務に励み入居者の方々に楽しく生活をして頂けるように努めていきたいと思っております。よろしくお願いします。



転出・退職

転出

太田 卓哉 所長 → 四條畷荘 荘長
酒井 郁子 特養介護科長 → 春日丘荘 特養介護科長
宮林 早百合 看護職員 → 原田デイサービス 看護職員
後藤 彰 養護生活相談員 → 茨木市南茨木多世代交流センター 所長

退職

杉山 由香里 看護職員

栄養士より

管理栄養士
笠間 基寛



永寿園とよなかの食事は、従来のよ
うな厨房で原材料
を下処理・調理して
提供するスタイル
ではなく、クックチ
ル方式とって給

食会社の食品工場(セントラルキッチン)であら
じめ調理された食品を納品し、施設では再加熱・
盛付けの手順で、効率的に美味しい食事の提供を
しています。

養護老人ホームでは、厨房で盛り付け、加熱
兼配膳車にトレイメイクした食器をセットの
後、自動で加熱が始まります。定刻に出来上
がると、配膳車として食堂まで移動し提供して
おります。ご飯は各食堂の炊飯器で炊き、あつ
あつを食べて頂いています。

特別養護老人ホームは、各ユニットにキッ
チンがあります。このキッチンで、入居されている
皆様に馴染みのある介護職員が、スチームコン
ベクションオーブン等で加熱します。加熱後は、
好みや食品に合った食器を使い、個人が希望す
る食事量に調節して盛り付けることができます。
また、生活時間に合わせて出来立ての食
事の提供をしています。

これからも皆様に満足していただける食事を
提供し、喜んでいただけるようにいたします。

医務室より



看護職員
日阪 靖

2月より養護老人
ホームの看護職員と
して勤務させていた
だいています、日阪
靖です。
皆様の健康管理のご支援のために勤
務させていただいていますので何
でも申し付け下さい。
これからもよろしくお願いいたします。



看護職員
山口 百合子

はじめまして!
この春から永寿園と
よなか特別養護老人
ホームの看護職員と
して配属されました山口
百合子と申します。
地域で過ごされてきた方々の特養での
生活を健康面で支えていくことに務め
させていただきます。様々な方と接する機会
を多く持っていきたいと思っております
ので、気軽にお声かけ頂ければ嬉しく思
います。
どうぞよろしくお願いいたします。

業務推進表彰

介護職員は永寿園とよなか開所時よ
り特養のユニットリーダーを務め、昨
年4月より養護に異動して、日常の
業務改善や職員の介護技術の指導な
ど特養で培ったノウハウを活かした業
務推進を養護老人ホームで積極的
に行っています。

H28年3月13日のOSJプラザで
事業団理事長より日頃の成果を表彰
されました。



表彰状

業務推進表彰
福井 さとみ 様

あなたは自らの能力を十分に発揮し
自己研鑽に努め絶えず業務推進
・改善の試みや経営基盤の安定
に努め豊かな地域社会の構築に
大いに貢献されました
よってその功績をたたえ表彰
いたします

平成28年 3月13日

社会福祉法人大阪府社会福祉事業団

理事長 高木哲夫

社会貢献事業

本年度も積極的に社会貢献、地域福祉の推進を進めていきます。
 認知症の方を地域で見守りながら支えられるように認知症サポーター養成講座を開催し地域の認知症サポーターを増やします。
 地域住民の方を対象に介護予防や生涯学習の様々な機会を提供します。医療、福祉の専門職を講師に招いての講座や笑いヨガ、落語会、認知症サポーターフォローアップ研修などを行います。
 地域交流室での子育てサロン、ことぶきサロン(喫茶)にて世代を超えた交流を継続します。地域の行事や施設の行事を通して地域の公民分館、自治会、保育園、小学校等の方々と互いに参加し合い交流を深め、地域の社会福祉施設としての役割を果たしていきます。

ステップアップ事業 認知症サポーターの組織化

平成26年度、27年度に開催した認知症サポーター養成講座の受講生を対象に最新の認知症研究成果の発表や地域住民の方に期待することなどの内容でフォローアップ研修を実施しました。
 今後は永寿園とよなか地域へのボランティア活動を希望される方が共に協力し、認知症サポーターの方々の組織化をすすめていきます。
 その組織化されたメンバーで認知症高齢者の支援だけでなく独居高齢者、老々世帯の見守りなどの生活支援や、地域の子供達が社会活動に参加出来るための機会のづくり、登下校時の見守り活動の実施をすすめています。
 この活動では地域で何が困っているか、地域で何が必要とされているかの情報が大事になります。地域の皆様の声をお待ちしています。

地域交流スペース使用規程が変更となりました

永寿園とよなか地域交流室の使用規程が平成28年4月より変更となりました。

- ◆ **地域交流室の使用時間**は9:30から20:00
- ◆ **使用時間**は一日当たり3時間以内
- ◆ **予約受付期間**は使用日の1月前の日の属する月の初日から当該使用日の前々日まで

(例)8月1日の予約は7月1日以降に受け付け可能。
 8月31日の予約は7月1日以降に受け付け可能。



苦情解決

(H27年10月～H28年3月)

- ① **ケアの内容に関わる事項** 2件
 - ② **職員の言動・対応に関わる事項** 1件
- 計3件



ショートステイご利用者より
 衣類の生地が悪くなっている。
 どのように洗濯しているのか?

今後の対応

洗濯に関しては家庭用洗濯機で御一人ずつ洗濯させて頂いています。なるべく干して乾燥させるようにしていますが、使用頻度が高い物や汚れがあった場合は洗濯の回数も多くなる上、乾燥機を使用することもあります。また、汚れがあった場合小まめに洗濯をさせて頂く事もある為、生地がどうしても劣っている印象を受けられるかもしれません。今後生地が傷んできた際には、事前にご家族様にご相談することをお伝えしています。

第三者評価

特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンターによる第三者評価を養護老人ホーム、特別養護老人ホーム共に受審しました。

評価結果は、一般に公開されており、ワムネット(福祉医療機構が運営する、福祉・保健・医療の総合情報サイト)のホームページにて閲覧できます。

編集後記

昨期より、広報スタッフ一同は、広報誌の定期的な刊行を目標に広報活動をしており、少しずつずすが形が出来てきたように思えます。新年号の後、当初は春と考えておりましたが、4月に職員の変更があり、他施設より所長と特養科長が新しく赴任し、永寿園とよなかの新たな船出となりましたので、発行時期を夏にずらして、スタッフの情報を中心に今号を構成しました。次号は盛り沢山な夏の行事を中心に秋ごろの発行を予定していますので、楽しみにお待ち下さい。

特養介護職員 勝村 明